

スプリンクルシリーズ 施工・取扱説明書

対象製品番

G215S/G15TS/G15AS/G15RS
G16TS/G24AS/G24RS

ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、
正しくご使用下さい。

●お客様へ
お読みになった後は、お使いになる方が
いつでも読める所に必ず保管して下さい。

●工事店様へ
施工後、この説明書をお客様へお渡し下さい。

施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明して下さい。

⚠ 注意	
⚠	修理技術者以外の方は、水栓柱本体内部を分解しないで下さい。 故障や水漏れの原因になります。
!	凍結が予想される地域では必ず水抜き栓を設置して下さい。 凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
!	配管の深さは各自治体ごとに決まり（凍結深度）がございます。100mmより深い場合は指示に従って下さい。浅いと凍結による管破損などの可能性があります。
⚠	散水用です。 飲用などの用途には使用できません。

適切な使用条件

給水圧力	最低必要水圧（流動時） 0.05MPa	最高使用水圧（静止時） 0.75MPa
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水	
用途	散水用	

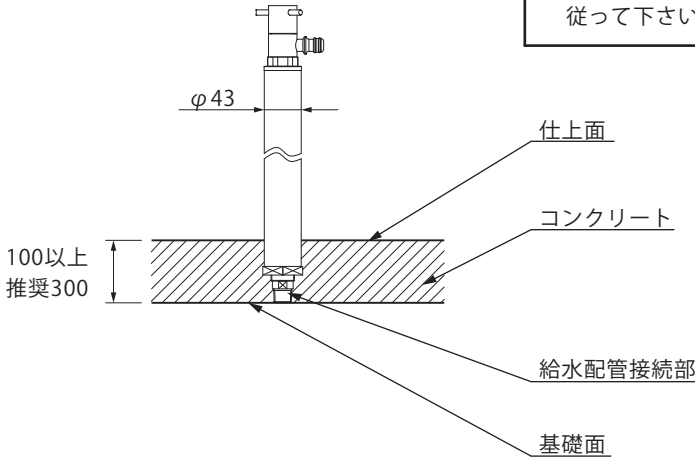
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧して下さい。

施工手順

1. 設置場所の確認

給水配管の位置を確認する。

参考施工図（mm）

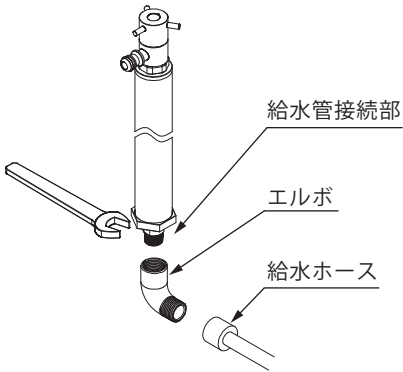


⚠ 注意

- 水栓柱は住宅の基礎面上に設置して下さい。
- P C板などの十分強固な上に設置して下さい。
- 配管の深さは各自治体ごとに決まり（凍結深度）がございます。100mmより深い場合は指示に従って下さい。

2. 水栓柱の取付け

水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水配管を接続する。



⚠ 注意

- 接続の際は、給水配管接続部が回らないよう、スパナ等の工具で掴んで接続してください。
- 取付け前、取付け後には必ず通水し、配管のゴミを洗い流してください。（フラッシング）
※フラッシング不足に起因する水漏れや破損は、購入からの期間に関わらず有料修理となります。

3. 通水点検

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。
このとき、確実にフラッシングを行ってください。

フラッシング：蛇口を全開し、約30～60秒間勢いよく通水を行ってください。
施工後数日～数ヶ月で、『水がでない、止まらない、ポタ漏れする』等のお問い合わせが頻発しております。
その一番の原因は、フラッシング不足により『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』です。

ご使用に関する安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

⚠ 警告	
⚠	小さいお子様だけのご使用は、避けて下さい。 やけど・けがをするおそれがあります。
⚠ 注意	
⚠	製品に強い力や衝撃を与えないで下さい。 故障や水漏れの原因になります。
⚠	分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないで下さい。 器具が破損し、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
⚠	吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないで下さい。 磨耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に吐水口部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。
⚠	解氷機やアースを水栓に通電しないで下さい。 水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結予防

凍結が予想される地域では、必ず水抜き栓を設置してください。

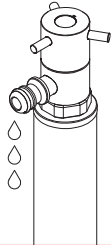
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

※凍結による破損はお取付けの地域に関わらず、
保証期間内でも有料交換となります。
一度でも凍結すると破損し水漏れが発生するため、確実に凍結予防策を講じてください。

水抜き栓を設置していない現場で、凍結の恐れがある場合は、
次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 蛇口より少量の水を出してください。水を流し続けることで、凍結を予防できる場合があります。（目安として1分間に牛乳ビン1本程度）

- 止水栓(元栓)を閉め、水栓柱の蛇口をすべて開放してください。
水栓柱内部の水が半分ほど抜け、凍結を予防できる場合があります。



日頃のお手入れ

製品についた汚れを放置しておく、と、汚れが落ちにくくなる場合があります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取って下さい。
- 汚れが目立つときは、お湯(40℃)で薄めた中性洗剤で軽く拭き取り、その後よく水拭きしてから布で乾拭きして下さい。

⚠ 注意

- 次のは使用しないで下さい。変色や傷みのおそれがあります。
 - 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの洗剤や油類
 - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
 - ナイロンたわし など

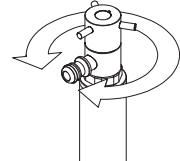


定期的な点検：稼動部の確認

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、工事店様に修理をご依頼下さい。吐水口の点検については下記を参照下さい。

月1回を目安に、定期的に吐水口を回してください。
※吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。

吐水口が回らなくなった場合は、工事店様に修理をご依頼下さい。



定期的な点検：配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認して下さい。（年2回を目安）

定期的に、器具のガタツキがないか確認して下さい。（年2回を目安）
劣化・磨耗などで部品が破損し、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

水漏れを確認した場合は、配管中の元栓を閉めて下さい。

